

活動場所：鶴岡市黄金地区

団体の紹介

鶴岡市市街地南西部、金峯山麓及び母狩山麓に位置する黄金地区にて、放置林問題や竹害、土砂災害、獣害、不法投棄等、里山におけるさまざまな課題に取り組むとともに、里山のフィールドを活かした幅広い年齢層を対象とした教育活動を行う団体です。

今年度の活動内容：竹林整備（竹害予防）活動

5月～7月、9月～11月の週末、道路に倒れかかっている竹や電線に掛かり支障となっている竹を除伐するとともに、その原因となっている放置竹林の間伐整備を行いました。



作業後
⇒



苗木の無償頒布



地区のフリマにて、竹ポットを使い育てた苗木の無償頒布を行いました。来場者の皆さんにたいへんご好評いただきました。

－ 伐採竹の利用方法 －

①竹チップ化



※発酵させ、土壌改良材として利用しました。孟宗等の生長に良い効果が期待できます。

②竹材

簡易日除けの骨組み



いかだ

※「山形県金峰少年自然の家」でのいかだ体験活動や、「社会福祉法人民田保育園」にて園児たちの日除け場の骨材として利用していただきました。

○その他、地区住民に向けて放置竹林問題と里山保全に関する講演会を実施しました。

活動を実施しての感想等

発足2年目の今年も昨年に引き続き、地域の方から要望がありました竹林整備活動を、主に春と秋に行いました。その活動に加え今年も、地区で催されたフリマへの出店や地区住民に向けて講演会を実施することで、団体の活動の周知に努めました。しかしながら、会員はいまだ増えていないのが現状です。この点は次年度以降の課題にしたいと思います。

昨年末、私たちの鶴岡市で土砂崩れが発生し、2名の方が亡くなりました。原因は、住宅裏山の土壌に雪解け水が大量に浸透したことでした。この災害を機に、改めて里山保全の意義を再認識しました。こうした災害予防の観点からも、団体の活動の周知と参加者の増員が喫緊だと考えております。